

やまぐち 市議会だより

3
6月
定例会

9

12

NO.64



思いをつなぐ新たな挑戦!!

定例会ピックアップ	3
議案の審議結果	5
委員会ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	15

**6月
定例会**

2022年
6/6～6/27

上程された議案

予算

3件

条例

10件

事件議決

7件

委員会提出

1件

市民の声を市政へ!!



今定例会は、改選後の新体制34名の議員による初めての定例会であり、本会議における一般質問・質疑では、緊張感と新鮮味のある新人議員の初登壇もありました。

委員会における審査や調査も含め、それぞれの議員が「公約を実現させる」、「市民の皆様の声を市政に反映させる」という決意に満ちた定例会となりました。

今後、4年の任期の中で、それぞれの議員が議会や地域で活動することにも、常任委員会による調査や議員間での議論によって議会をこれまで以上に活性化し、山口市のさらなる発展を目指します。

34 194,000の決意

それぞれの視点で市長に質問！

若者や子育て世代の声を政策に反映させることが第一

文化や伝統芸能を守り継承していく

中山間地域の医療や交通を守る取組は

通学路の安全確保！交通事故から子どもたちを守る

学生が起業や開業をしやすいまちを目指す

協働のまちづくりにおける住民負担の軽減を

ふるさと納税のさらなる活用を

中核市の実現は！各地域の将来人口に基づく計画が必要

公共事業の評価委員会を設置すべき

中小企業の事業承継への支援強化を

豊かな海を守り、育てるための取組は

「市長に聞きたい!」(8～14ページ)では、一般質問・質疑でのやりとりを詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。

新型コロナウイルス感染症経済対策 第12弾

～コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策～

まずは、暮らしを支える緊急対策として

- ・4回目の新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な接種体制の確保
- ・物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援
- ・物価高騰等の影響を受けた給食への対応
- ・新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等の影響を受けている事業者等への対応

物価高騰等の影響を受けた給食への対応

- ・食材費が値上がりするが、給食の質・量はこれまでどおり提供する。
- ・給食費は据え置き、経費の増額分は市が負担する。

さらに…

期間を限定してでも給食費を無償化してはどうか？

- 【答】新たな保護者の負担が生じないように経済対策第12弾で対応するが、無償化の実現は難しい。

子ども食堂への支援も必要ではないか？

- 【答】食材や光熱水費などの高騰により子ども食堂の運営にも徐々に影響が出てきている中で、生活困窮者等を支える子ども食堂の存在意義は一層増してきている。
- 引き続き、運営団体や地域の取組への支援を行うとともに、本市の災害用備蓄食品の無償提供や、政府備蓄米の無償提供の活用を実施していきたい。

ロシアによるウクライナ侵略などの影響に伴う原油価格や物価高騰等により、市民生活や事業活動に影響が生じています。

国における緊急対策の取組を一刻も早く進めつつ、生活者支援や事業者支援に関する市独自の取組を進めていくため、暮らしを支える緊急対策として「地方創生臨時交付金」を活用した経済対策第12弾を行うための

補正予算議案が提出され、可決しました。

今定例会では、これらの対策について様々な質問がありました。

指摘・要望

- 今後も原油価格・物価高騰等による市民生活や地域経済への影響を見極めつつ、さらなる支援が必要と判断される場合は、躊躇なく効果的な追加支援を行うことを求める。

- 【答】経済対策第12弾の拡充に向けて調整を行っている。



6月定例会

ピックアップ

pick
up農業の振興
施策について

大規模ほ場での機械作業

「農林水産部」が新設され、多くの議員から農業振興施策を推進していく上での組織体制、予算面をはじめ、経営基盤を安定的に確保するためのソフト・ハード事業への支援対策、農産物のブランド化の推進、他業種との連携や有機農業への取組など、多角的な質問や指摘がありました。

執行部からは、市内農産物の販売促進や交流・定住促進事業のほか、小規模農家への支援など事業の見直しを図り、前年度予算を2億1500万円増額し、活力ある農林水産業の振興に努めるとの答弁がありました。

鑄銭司第二団地 整備事業

新たな企業進出の受け皿として整備が進められています。が、地山掘削の際、硬い岩石が存在したため、切土・盛土工の遅れが生じ、工期が令和5年3月末までとなる見込みです。今回、その追加工事等に係る整備事業費として、約5億4220万円（特別会計約2億6457万円、団地内道路の整備に係る一般会計約2億7763万円）を増額補正しました。



出土した岩石（破碎処理して盛土材に使用するなどして現地で処理された）

指摘・要望

- 企業進出、雇用創出、地域振興に資するものであり、早期に効果が出るよう積極的な企業誘致を求める。
- 事前に地域住民から「岩が多い所」との懸念があったが、今後はそういった経験則等も調査に生かされたい。
- 一般会計からの際限ない繰入れを懸念している。

若者の定住にメグリバを活用!

山口市は20代の若者の大都市圏への転出超過が大きく、学生が山口市以外の地域に就職する傾向が続いていることから、若者にとって魅力的な働く場の確保が必要です。

そうした中、令和3年4月にオープンした産業交流拠点施設KDDI 維新ホールの産業交流スペース「メグリバ」では、若者を含む幅広い世代の起業家育成のため、年に200回近くのイベントやセミナーの開催、コワーキングスペースの設置や個別相談会を実施し、今までに約3万9千人もの方に利用してもらっています。

メグリバは、若者の転出超過の流れに歯止めをかけ、若者が活躍できる元気なまちづくりの一助となる存在であり、今後は大学や企業への訪問を定期的に実施するなど、学生をはじめとする若者の利用促進に取り組まれます。



メグリバでは気軽に起業などの相談ができる



Megriba
(メグリバ)
ホームページ

気になる動き

新本庁舎 活断層の有無を再調査

令和4年3月、有識者から過去の調査結果に疑問があるため再調査と第三者委員会の設置を求める要望書の提出があり、市として断層の存在に係る市民の不安感の払拭と第三者委員会設置の判断材料とするため、あらためて再評価（総合解釈）が行われています。

議員からは「再調査は中立的な立場の専門家による調査が必要ではないか。再調査で得られた新たなデータや結果などで疑義が生じた場合には第三者委員会を設置するのか」との質問がありました。執行部からは「平成30年当時の断層調査で国の機関にも相談し、中立的な立場で科学的な検証を行える地元の山口大学への調査依頼を提言された。再調査にはできるだけ多くの専門家が参画し、8月末までに報告書を提出してもらう。その結果を第三者委員会設置の判断材料にしていく」との答弁がありました。



調査中の新本庁舎建設予定地



国へ提出します!!

最終日に生活環境委員会から議案を提出し、全会一致で可決しました。

意見書の全文は、市議会ホームページに掲載しています。



シルバー人材センターの安定的な事業運営のための適切な措置を求める意見書

令和5年10月の消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入によって大きな影響を受けるシルバー人材センターについて、導入後も安定的な事業運営ができるよう適切な処置を求めるもの。



意見書の全文
(市議会ホームページ)

議案の審議結果

■ 全員賛成で可決した議案

- 予 算**
- 令和4年度山口市国民宿舎特別会計補正予算（第1号）

- 条 例**
- 山口市税条例等の一部を改正する条例
 - 山口市使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例
 - 山口市老人憩の家設置及び管理条例の一部を改正する条例
 - 大原湖キャンプ場設置及び管理条例の一部を改正する条例
 - 願成就温泉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例
 - 十種ヶ峰ウッドパーク設置及び管理条例の一部を改正する条例
 - 山口市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例
 - 山口市営地域優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例
 - 山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

- 事 件 議 決**
- 市道路線の認定について
 - 湯田地域交流センター増改築工事の請負契約の締結について
 - 阿東地域交流センター篠生分館新築工事の請負契約の締結について
 - 消防ポンプ自動車の取得について
 - 消防ポンプ自動車の取得について
 - 高規格救急自動車の取得について
 - 令和4年度山口市一般会計補正予算（第1号）に関する専決処分について

- 委 員 会 提 出**
- シルバー人材センターの安定的な事業運営のための適切な措置を求める意見書の提出について



消防ポンプ自動車（イメージ）



指定管理者制度を導入する山口市阿東総合交流ターミナル（道の駅長門峡）



慎重な審議の結果、
今定例会では21議案を
可決しました。

■ 賛否が分かれた議案と審議結果（○は賛成、×は反対）

議 案		審 議 結 果	未 来 志 行 山 口	県 都 創 生 山 口	公 明 党	ふるさと共創山口	市 民 ク ラ ブ	高 志 会	日 本 共 産 党	徳 孤 会	地域政党 やまぐちの風	最 燃 焼
予 算	令和4年度山口市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	令和4年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
条 例	山口市阿東総合交流ターミナル設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

山口市議会では、「総務」「教育民生」「生活環境」「農林建設」「予算決算」の常任委員会を設置し各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ホームページに掲載しています。



先進機能を装備した救急車で より安全な救急搬送を

総務
委員会

平成28年に南消防署に配備し、走行距離が21万キロメートルを超えた高規格救急自動車を更新配備する。

車内には、高度救命処置用資器材の搭載をはじめ、感染対策の強化を図るため、待機中に車内や機材に付着した菌やウイルスの除菌及び脱臭を行うことができるオゾン発生装置のほか、傷病者のプライバシーを保護しつつ、車内消毒が容易にできるよう、従来のカーテンを調光フィルムに変更して装備する。

さらに、先進的な安全装備としてアクティビークンを装備し、より安全な救急搬送が可能となる。

(装備イメージ)



「調光フィルム」透過モード(写真上)と障子のように光を遮る調光モード(写真下)に切り替え可能



※アクティビークン

活動状況に応じて警光灯の発光パターンが3つのモードに変化する装備。

緊急走行時には、ハイパーモードで視認性を向上させ、現場停車中には、ソフトモードで発光を抑え、夜間の住宅地での活動における付近住民への配慮を図る。切り替えは、パーキングブレーキ等に連動しており、追加の動作を必要としない。



学校給食費の公会計化、制度移行 年度の取組と見えた課題は

教育民生
委員会

令和4年1月から給食費のWeb口座振替受付サービスを開始している。市のウェブサイトから口座引き落としの登録手続が可能となるシステムで、金融機関に向く必要がなく、24時間、都合のよい時間に手続ができるため、保護者の負担軽減につながると考えている。

一方で、教員の負担軽減を目的とした給食費の公会計化で、教育委員会事務局職員の事務負担は増加し、各種作業に時間を要している。業務内容を整理し、今後の体制について考えていきたい。

(担当部局：教育委員会)

委員の意見

・地域によって給食費負担額に差があることは問題であり、市町合併からの年数を考えても、給食費が公会計化したこのタイミングで給食費の統一を図るべきと考える。



障害者優先調達推進法に係る さらなる取組を

教育民生
委員会

公の機関が、障がい者就労施設などからの物品調達等を優先的・積極的に推進するという法の趣旨に沿い、市では毎年度当初に、物品及び役務のそれぞれが前年度の調達件数及び実績額を上回ることを目標とした調達方針を定めている。取組年数が経過するほど、件数、金額とも数値の伸びにくさを実感するが、今後も引き続き、各所属に対しての働きかけを行いたい。併せて、障がい者の就労機会のさらなる拡大を図るため、他部局とも連携しながら、新たな取組を研究・模索しながら検討していきたい。

(担当部局：健康福祉部)

委員の意見

・障害者優先調達推進法に係る取組を法制化の前から実施されていることは大変評価している。自治会との関わり方など、今後のさらなる取組に期待している。



観光アンバサダーとの 大学卒業後のつながりは

山口大学経済学部との協力のもと、観光について学ぶ大学生を「山口市観光アンバサダー」に委嘱し、卒業までの間、観光行事などで若者の視点を通じた本市のPRをお願いしている。

それらの経験を生かして、卒業後も本市のPRを行っていただけのものと期待しているが、現状においては卒業後の交流の仕組みまではないため、今後、検討していきたい。

(担当部局：交流創造部)

委員の意見

- ・観光キャンペーン等のスタッフとしての活動だけではなく、観光を学ばれた学生が将来にわたって本市の観光振興に寄与してもらえるよう、貴重なつながりを有意義なものにしていきたい。

生活環境
委員会



(仮称)湯田温泉パークは どのようなイベントで使うのか

施設の最大の特徴である全天候型の大屋根広場では、レノファ山口FCの試合観戦（パブリックビューイング）等や、最大1000席収容の大会など様々な利用を想定している。

屋根の構造や可動壁の設計を見直したことで、閉め切った状態での利用ができるようになり、イベント時の音漏れ等を軽減できると考えている。

(担当部局：交流創造部)



(仮称)湯田温泉パーク
イメージ動画
(市ウェブサイト)

委員の意見

- ・イベント時の音漏れや振動について近隣住民への配慮が必要である。使い始めてみて、想定していた利用ができなくなったということがないよう、事前に十分な検証を行うよう求める。

生活環境
委員会



道路・公園における異常箇所の オンライン通報

道路・公園において発見された異常箇所を、山口市LINE公式アカウントから手軽に通報できるオンライン通報を4月から試行的に運用開始している。

位置情報や添付された写真から容易に現状把握ができ、迅速な補修対応や業務の効率化に繋がることから、より多くの市民に利用していただけるよう周知に努める。また、本格的な運用開始に向け、運用方法や操作性について検証を行い、利便性の向上に努めていく。

(担当部局：都市整備部)

委員の意見

- ・通報された方に対応状況を報告する仕組みづくりを検討していただきたい。
- ・徒歩、自転車通学の中高校生等にも通報してもらえるよう制度を周知してはかがか。

農林建設
委員会



スマート農機等の導入は 進んでいるか

農業現場においてAIやICT、ロボットなどの先端技術を活用することで、作業の効率化や省力化などを図り、高齢化や労働力不足といった課題を解決するため、スマート農業の導入を支援する「スマート農業加速化支援事業」を創設した。今後、事業の効果を検証するとともに、導入された方の意見を伺うなど制度の拡充等の検討を進める。

また、県の専門職やJAの営農指導員等と連携を図り、農業者の所得向上に取り組んでいく。

(担当部局：農林水産部)



自動運転コンバイン（スマート農機の一例）

農林建設
委員会



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁をあわせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コードから見るができます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。

行政 第二次総合計画後期基本計画の策定について!

山口市総合計画
策定協議会
(市ウェブサイト)



問 本年度中に策定される「第二次山口市総合計画後期基本計画」において、人口減少の進む現状を踏まえた課題にどのように対応していくのか、考えを伺う。

答 市民参画による策定体制として外部有識者や市民公募委員等、20名で構成する山口市総合計画策定協議会を設置した。

人口減少が進む農村エリアにおける転出超過ゼロを目指した地域活性化の取組、若者の大都市圏への転出超過抑制を目指した若者雇用の受皿づくりにもつながる山口・小郡両都市核づくりを中心とした広域県央中核都市づくりの推進、国や県の施策展開と連動する中で子育て世代が暮らしやすいと感じるまちづくりの取組、この三つの方向性を踏まえた施策を検討していく。

未来志行山口
馬越 帝介

まひし たいすけ

産業 鋳銭司第二団地整備事業の進捗



整備中の鋳銭司第二団地

問 鋳銭司第二団地整備事業の進捗状況と今後の進め方について伺う。

答 本年10月末の整備完了予定で整備工事を進めていたが、当初の想定以上に中硬岩が広範囲に出土したことによる切土、盛土工の遅れに加え、新型コロナウイルス感染症とウクライナ情勢による影響に伴い水道設備部品の調達にも時間を要し、工期が令和5年3月末までとなる見込みである。アクセス性や環境の良さを評価いただき、数件の企業から問い合わせをいただいている。整備完了後には、雇用の創出と地域経済の活性化に着実につなげるよう、企業誘致に積極的に取り組んでいく。

県都創生山口
野村 幹男

のむら みきお

行政 「手続き弱者」に温かい行政組織を!!

問 機械化、デジタル化が進んでいくからこそ必要な、そして拡充していかなければならない分野として、行政手続の困りごと相談窓口の人的拡充が必要と考える。

オンライン申請等のデジタル化が進むことは、市民の利便性向上につながるとは思うが、一方で、市民の多様なニーズに対応可能となる執行体制を整備する必要があると考えるがどうか。

答 デジタル機器の操作が苦手な方に対し、職員が入力のお手伝いをするともに、市民の皆様と向き合って対応するためのプライバシーに配慮した窓口を設置するなど、対人サービスの在り方の検討、整備を進め、誰もが安心して手続きができる窓口サービス体制を構築していく。



公明党
村上 満典

むらかみ みつのり

交通 地域交通網の維持・確保について



都市核を縦走する基幹交通山口線

問 地域交通網の維持・確保、とりわけＪＲ山口線の存続、周辺部の交通難民問題について市長の所見を伺う。

答 まちづくりにおけるＪＲ山口線の重要度や規模縮小、廃止への危機感をしっかりと訴えるとともに、日常や観光での利用促進、魅力的な地域資源の発信などについて前向きな協議を重ねていく。周辺部の地域交通問題の解決については、グループタクシー制度の利用促進、パークアンドライドの取組に加え、タクシー事業の配車アプリの活用といった次世代技術の活用なども研究しながら、地域にとって最適な形となるよう移動手段の確保に取り組んでいく。



ふるさと共創山口
中野 光昭



生活 過疎地域の鉄道や分校跡地の今後



山口高校徳佐分校

問 ＪＲ山口線の経営状況の公表の受け止めと今後の取組、また、分校の募集停止・閉校の決定への受け止めと跡地活用の方策を伺う。

答 ＪＲ山口線は、日常生活機能を維持する上で重要な役割を果たしている。まちづくりにおける重要度、規模縮小や廃止への危機感をＪＲ西日本に訴えていく。また、分校については、県に対し在校生や保護者への丁寧な対応、遠距離通学する高校生の負担軽減等の検討を要望したい。なお、在校生の卒業後は、県の跡地の利活用の検討と並行し、関係者の声を伺い、地域の活性化につながる利活用が図られるよう県に要望を行いたい。



市民クラブ
山見 敏雄



都市 求心力ある中核市の早期実現へ！



小郡の平成公園

問 市長が考える中核市の必要性はどこにあるのか。

答 本市の広域県央中核都市づくりに期待される役割と、地方自治法上の中核市に期待する役割とは、その方向性を同じくしているものであり、都市圏域全体が発展するために広域的な求心力や拠点性を有する中核都市の存在が必要である。

問 都市人口増加地域における公園の設置要望

答 マンション建設などに伴う公園設置の要望について、市の対応を伺う。

問 地域からの御要望等に対し、実情を踏まえた上で既存の公園ストック等の有効活用も含め検討していきたい。



高志会
有田 敦



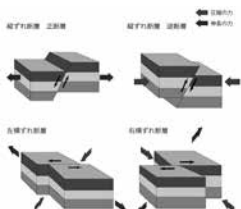
行政 新本庁舎整備の規模や活断層の再調査は適切か？

問 過去に実施した山口大学の同じ責任者のもと再調査を委託するのは、断層がないとする視点でしか調査されない可能性がある。中立的立場の専門家の調査が必要で監修に入ってもらいたい。

答 市民の不安感の払拭のため改めて活断層に係る再調査を委託した。調査は中立的・科学的に行われるべきで山口大学への委託は妥当。再調査の結果を踏まえ、第三者委員会の設置を判断したい。

問 物価高騰の影響もあり基本計画に立ち返った規模の見直しを求めるがどうか。

答 現庁舎の老朽化もあり、計画どおり今年度中の着工に向けた準備を進めたい。



出典：地震調査研究推進本部



日本共産党
大田 たける



文化芸術活動の継承と創造の環境づくりを！



文化の継承のため多くの人に知ってもらう機会として新山口市南北自由通路で披露
(えぎの笑顔まつりH31.3)

問 持続可能な文化芸術活動の環境づくりの展望について伺う。

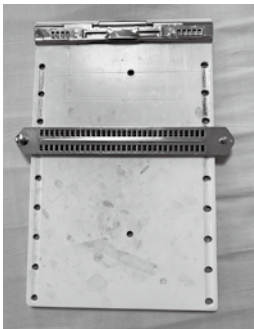
答 人材育成や担い手の確保のため幅広い世代、特に次世代を担う若年層に向けた取組を進めており、小・中学校における伝統芸能・音楽・演劇の鑑賞機会の充実を図る子ども芸術体感事業を実施している。また、大内文化特定地域等のまちなみや公共空間を会場とした展示や演奏を行うなど、各団体の発表の場の環境づくりと市民が身近に文化芸術に触れる機会の創出を進めている。文化芸術活動を支える人づくりは文化芸術の継承と創造に向けた礎であり中長期的な視点で取り組む。



未来志行山口
米本 太郎



阿東の公共交通の利便性向上を



使いやすいとされている点字器の例

問 路線バスの便数の少なさ、乗換え・ダイヤの設定への意見にどう取り組むか。

答 現実的な対応策として、交通の要衝である三谷駅周辺に「置くとバス駐車場」設置を検討する。また、快適に待合時間を過ごせる待合所の環境整備に取り組みたい。

福祉 **投票所に配置してある「点字器」の更新について**

問 小さくて非常に使いにくいとの声があるが、更新の予定について伺う。

答 7月実施の参議院議員通常選挙に向けて、新たな点字器を購入する準備を進めている。選定にあたっては当事者の御意見を聴き、使いやすいものを購入する。



公明党
其原 義信



若者・子育て世代、ひとり親の声の反映と展開

問 総合計画後期基本計画の策定に向け、若者・子育て世代の声をどのように反映していくのか伺う。

答 策定協議会には子育て・教育分野、大学生の委員にも御就任いただいた。また、市長、職員が若者や子育て世代の御意見を直接伺うための懇話会を順次開催する。さらに幅広く意見を聴くため夏頃には約5千人を対象としたアンケート調査を予定している。

問 ひとり親家庭の声に関してはいかがか。

答 国や県による調査の結果等も踏まえ、よりニーズに寄り添った展開を図るとともに支援団体と協力して取り組んでいく。

●その他の質問

○スポーツ地域資源を活用した地域活性化について

○投票率向上について



未来志行山口
鳥養 祐矢



中山間地域振興策「買い物弱者対策」の取組！

問 山口市創業支援事業等があるが、直接的な補助制度の創設等が必要と考えるが市の所見を伺う。

答 今年度、山口市農山村地域活性化ビジネス支援事業を創設し、近々応募できるよう準備を進めており、移動販売事業、農家レストランの開業などの事業を開始する個人や事業者等を支援する。また、県では買い物弱者対策として移動販売事業を計画に掲げて取り組む地域への補助制度もあることから、この制度も活用したい。あらゆる世代が安心して暮らすことのできる地域の実現に向け、制度の周知、地域との協力・協議の中でしっかりと支援していく。

●その他の質問

○協働のまちづくり

○福祉行政

○美濃ヶ浜海浜広場の活用



公明党
栗林 正



安全 抜け道での交通事故発生から子供たちを守る取組

- 問** 通学路である危険な抜け道への徹底した安全対策を行う一方で、抜け道化につながる幹線道路の渋滞緩和策、解消策が必要ではないか。
- 答** 市では今後、国等が保有するビッグデータを活用し、幹線道路の混雑状況や危険箇所の把握に努めていく。また、公共交通機関の利用促進や車に頼らないまちづくりなど、交通需要マネジメントに取り組んでいく。渋滞対策の取組に加え、生活道路の歩行者空間に継続的な安全対策を実施すること、子供たちのみならず市民の安全確保に努めていく。
- その他の質問**
- 犯罪被害者等支援条例の制定について
 - 市のサービスレベル向上に資する女性職員の活躍推進に向けた取組について



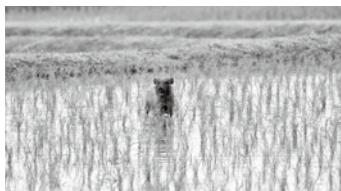

未来志行山口
梶山 俊哉

すげやま としや



農業 有害鳥獣による農作物被害の対策は

- 問** 農作物を有害鳥獣から守る対策について伺う。
- 答** 侵入防止柵の設置を目的とした本市独自の補助事業「野猪・猿被害対策事業」について昨年度より500万円多い1078万円に拡充している。また、山口市有害鳥獣捕獲対策協議会に対し狩猟登録や技術向上のための講習会参加等の経費を支援し、担い手確保に努めている。防護と捕獲・駆除の両面を支援し被害の拡大防止につなげたい。
- その他の質問**
- 中山間地域の持続可能な農業について
 - ▼地域ブランド向上の取組
 - 小郡都市核について
 - 観光振興について



田んぼに侵入したイノシシ



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎

たけなか いちろう



教育 学校の働き方改革⇒生徒本位の部活環境づくりへ

- 問** 教員の負担軽減はもとより、生徒本位の部活環境づくりを求めるが、部活動の地域移行に関して、課題と今後の方向性について伺う。
- 答** 国が示す令和7年度末までに地域移行する目標に向けた検討を始めているが、重要な課題は、指導者の確保、新たな保護者負担の問題、休日の管理責任の在り方である。今後、生徒・保護者のニーズや教職員の意向を把握するためにアンケート調査を実施した上で、地域や学校の実情を踏まえた休日の部活動の望ましい在り方を検討したい。学校と地域が協働・融合しながら生徒が主役となる地域での持続可能なスポーツや芸術文化活動を目指し環境整備を推進していく。
- その他の質問**
- 激動の農業における施策展開について




未来志行山口
坂井 芳浩

さかい よしひろ



行政 山口市の魅力をギュッと詰め込む夢の自販機を！

- 問** ふるさと納税寄付額の増加や地場産品PRのために様々な取組をしていると思うが、新たな寄付を獲得するため、山口市を訪れた方がすぐに現地消費できる地納地消型の「ふるさと納税自動販売機」を活用してはどうか。
- 答** 観光やビジネスで本市を訪れた方からの新たな寄付につながる一つの手法になるのではないかと考える。まずは、導入における費用対効果や先進自治体の取組状況について調査研究を行っていきたい。制度の推進はシティセールスの推進にもつながっていくことから、引き続き、戦略的かつ効果的な取組を進めていきたいと考えている。
- その他の質問**
- キャリア教育における指導と評価の在り方について
 - 未来人材ビジョンについて




市民クラブ
野村 雄太郎

のむら ゆうたろう



交通 市内のバス路線を維持する取組とは？

山口市としても運行・運用方式について、持続可能な形態への変更を図る段階にあると考えるが、執行部の考えをお聞ぎする。



問 山口市としても運行・運用方式について、持続可能な形態への変更を図る段階にあると考えるが、執行部の考えをお聞ぎする。

答 令和3年度において市内52系統のバス路線に1億8千万円の補助金を交付した。本市とバス事業者は、この状況に危機感を抱いており、役割分担について情報共有・意見交換を常に行っている。また、バス事業者では経営健全化に資する取組を進め、補助金の縮減に努めた。本市においても時刻表や路線マップの充実、交通系ICカードの導入支援など路線バス利用促進の取組を実施する。既存路線の維持を前提に経営的に厳しい状況が続く場合には、バス事業者の固定経費縮減に向け新たな運用方式も研究していく必要があると認識している。



公明党
山本 敏昭

やまもと としあき



環境 「きれいで豊かな海」を目指して！

市民の環境意識の高揚を図る取組を推進していきたい。



問 瀬戸内海環境保全特別措置法が一部改正され、多様な生物が生息するきれいで豊かな海の実現のために、窒素やリンなど栄養塩類濃度の適切な管理が必要となった。また、きれいで豊かな海の実現に向け、海洋ごみ、特にプラスチックごみが問題となっているが、市の取組を問う。

答 県が、栄養塩類をコントロールする制度を導入すると聞いている。今後、県が管理計画を策定する際には、実態を把握しながら、その計画に反映させることができるよう、必要に応じて県との情報共有の在り方を検討していく。海岸漂着ごみに関しては、市民、事業者、関係団体との連携・協働による環境美化活動に加え、3Rの促進による



徳孤会
山本 浩二

やまもと こうじ



産業 学生都市「山口市」メグリバで学生に起業支援

本市は全国平均よりも学生の割合が2倍も多い特事情では、10代20代の年齢層を中心にパートタイム起業の選択肢が注目されているが、メグリバのフォローアップペースでは学生の利用割合が少ない。学生にもっとメグリバを活用してもらい、学生起業家を輩出するため学生に特化した起業に関する支援を展開してはいいかがか。

megriba
(メグリバ)
ホームページ



問 本市は全国平均よりも学生の割合が2倍も多い特事情では、10代20代の年齢層を中心にパートタイム起業の選択肢が注目されているが、メグリバのフォローアップペースでは学生の利用割合が少ない。学生にもっとメグリバを活用してもらい、学生起業家を輩出するため学生に特化した起業に関する支援を展開してはいいかがか。

答 メグリバは、幅広い世代の方を対象に、起業創業期のあらゆる階層に対応した支援を行う場である。現在の相談体制や様々な支援機能を活用してもらうことで、学生の起業にもつながると考えている。魅力あるセミナーを積極的に展開、情報発信すること、メグリバを足がかりとした学生を含む若者の起業家輩出につなげていきたいと考えている。



最燃焼
安河内 淳朗

やすこうち あつろう



子ども 幼稚園・保育園に行っていない無園児について

様々な機会を通じて状況把握に努めており、例えば、やまぐち子育て福祉総合センター、家庭児童相談室等で受ける相談の中から把握することもある。関係機関とも連携して、適切に就園につなげる支援をしている。引き続き、状況把握と分かりやすい情報提供など支援に努める。



問 無園児とは、3歳から5歳の幼稚園・保育園に通っていない子供をいう。全国では3歳が約5万人、4歳は約3万人、5歳は約2万人が無園児であり、問題点は3つあると考える。幼児教育を受けられないことで能力が伸びず経済的に成功しない可能性があること、貧困が理由で通えていない子供がいること、ネグレクトや虐待などの早期発見が困難になることであり、無園児を減らす対策が必要と考える。

答 様々な機会を通じて状況把握に努めており、例えば、やまぐち子育て福祉総合センター、家庭児童相談室等で受ける相談の中から把握することもある。関係機関とも連携して、適切に就園につなげる支援をしている。引き続き、状況把握と分かりやすい情報提供など支援に努める。



市民クラブ
部谷 翔大

へや しょうた



生活 山口市のどこに住んでも安心できる環境を！



4月に運行が開始された徳地生活バス

●その他の質問
▼医療従事者の育成

問 地域に愛され、多くの方に利用される生活バスを
目指し、地域住民、交通事業者と一体となって交通ネットワークを構築する。

答 徳地・阿東地域の生活バス運行の将来的構想について伺う。

問 へき地医療提供体制を充実させていく上で、訪問看護ステーションの設置及び巡回医療車の展開は有効だと考え、支援していく。

答 中山間地域の医療充実化のため、訪問看護ステーションの設置や巡回医療車の準備は可能か伺う。

未来志行山口
大來 尚順

おおぞ なおゆき

生活 人口減少と生涯未婚率の関係は?!



○事業承継について

●その他の質問
組等を研究していきたい。

問 人口減少対策として、近年上昇している生涯未婚率を下げる施策展開が必要と考えるが、市の所見を伺う。

答 生涯未婚率が上昇傾向にある状況は、少子化による人口減少につながる要因の一つと考える。第15回出生動向基本調査報告書によると、結婚できない理由として、適当な相手に巡り会わないといった回答も多くなっている中、結婚応援の取組として、県等と連携し結婚に向けた出会いの場の創出や情報提供を行っている。今後結婚などに夢や希望を感じられる機運を醸成するとともに、民間団体との連携や、先進事例の取組等を研究していきたい。

問 生涯未婚率が上昇傾向にある状況は、少子化による人口減少につながる要因の一つと考える。第15回出生動向基本調査報告書によると、結婚できない理由として、適当な相手に巡り会わないといった回答も多くなっている中、結婚応援の取組として、県等と連携し結婚に向けた出会いの場の創出や情報提供を行っている。今後結婚などに夢や希望を感じられる機運を醸成するとともに、民間団体との連携や、先進事例の取組等を研究していきたい。

答 生涯未婚率が上昇傾向にある状況は、少子化による人口減少につながる要因の一つと考える。第15回出生動向基本調査報告書によると、結婚できない理由として、適当な相手に巡り会わないといった回答も多くなっている中、結婚応援の取組として、県等と連携し結婚に向けた出会いの場の創出や情報提供を行っている。今後結婚などに夢や希望を感じられる機運を醸成するとともに、民間団体との連携や、先進事例の取組等を研究していきたい。

ふるさと共創山口
植野 伸一

うえの しんいち

こども 保育園登園時のごはん持参をやめ、園で炊飯を

●その他の質問
○市職員による公職選挙法違反事件を契機としたアンケート調査について
○学校等の給食について
○小郡ふれあいセンターについて

問 3〜5歳児は保育園に主食のごはんを持参することになっており、子どもたちは、冬は冷たいごはんを食べ、夏は安全面から、炊き立てを用意しなければならぬ。ごはん持参のために毎朝炊飯する必要があり、保護者の負担は大きい。0〜2歳児同様に園で炊飯してごはんを提供できないか。

答 現在、公立保育園は全園、私立30園のうち7園で、各家庭からごはんを持参されている。よりよい給食の在り方を検討するため、まずはアンケート等で各家庭のニーズの把握をしていきたい。

問 現在、公立保育園は全園、私立30園のうち7園で、各家庭からごはんを持参されている。よりよい給食の在り方を検討するため、まずはアンケート等で各家庭のニーズの把握をしていきたい。

答 現在、公立保育園は全園、私立30園のうち7園で、各家庭からごはんを持参されている。よりよい給食の在り方を検討するため、まずはアンケート等で各家庭のニーズの把握をしていきたい。

問 3〜5歳児は保育園に主食のごはんを持参することになっており、子どもたちは、冬は冷たいごはんを食べ、夏は安全面から、炊き立てを用意しなければならぬ。ごはん持参のために毎朝炊飯する必要があり、保護者の負担は大きい。0〜2歳児同様に園で炊飯してごはんを提供できないか。

日本共産党
尾上 頼子

おのうえ よりこ

定住 中山間地域の将来像



徳地特産品販売所「南大門」

問 徳地・阿東の人口減少や高齢化率の見込みを問う。本市独自の将来人口推計では、20年後の令和22年には、徳地地域は2659人、阿東地域は2130人。40年後の令和42年には、徳地地域は1090人、阿東地域は657人まで減少し、高齢化率も高い水準で推移するものと推測する。

答 人口減少の中、農業・林業を生かした思い切った政策が必要と考えるが、市の基本的な考えを伺う。

問 人口減少の中、農業・林業を生かした思い切った政策が必要と考えるが、市の基本的な考えを伺う。

答 地域の特色を生かした農産物のブランド化や森林施業の拡大を図るなど、新たな担い手を確保することで、農山村地域の振興を図りたい。

問 徳地・阿東の人口減少や高齢化率の見込みを問う。本市独自の将来人口推計では、20年後の令和22年には、徳地地域は2659人、阿東地域は2130人。40年後の令和42年には、徳地地域は1090人、阿東地域は657人まで減少し、高齢化率も高い水準で推移するものと推測する。

高志会
伊藤 青波

いとう しょうは

農業 有機農業の推進について！

農林水産省
ホームページ
(オーガニックビ
レッジのページ)



国は、持続可能な食料シ
ステムの構築に向け、み
どりの食料システム戦略を策
定した。そこで、有機農業へ
の取組とオーガニックビレ
ジ宣言について伺う。

答 今年の5月から、あぐま
るやまぐちへの出店等を
通じ、有機農産物のPR活動
や販売活動を促進している。
また、学校給食への活用に向
け、仁保地域の小・中学校を
モデル校として、年3回実施
される「地産地消の日」にあ
わせ、有機野菜を活用したメ
ニューの提供に取り組んでい
る。これと並行して、山口市
有機農業推進計画の策定に向
けた協議を進めている。

オーガニックビレッジ宣言
については、本市の有機農業
を推進する有効な手段の一つ
と認識している。宣言に向け
た機運の醸成を図りたい。



高志会
伊藤 斉



定住 南部地域に移住・定住し、子育てをしてみよう！

南部地域の産業団地等で
働く社員や子育て世代な
ど、住宅を取得する移住者
に対し、補助や税制面での減
免措置を講じることで、移住
定住を促すことができないか。

答 転入者が住宅の建築や購
入をする場合に、自治体
が建築等の費用の一部を補助
するとともに、事業に賛同す
る登録事業者から値引き等の
優遇措置が受けられる事例や、
若年者の定住を目的として、
新築住宅及び中古住宅に係る
固定資産税の一部を一定期間
減免する事例などの様々な先
進事例を参考に検討する。ま
た、子育て世代には、南部地
域の自然豊かな居住環境や山
口きらら博記念公園や河原谷
公園のような
豊かな地域資
源に対し、関
心を持って
いただけるよう
な情報発信を
していく。



県都創生山口
山本 貴広

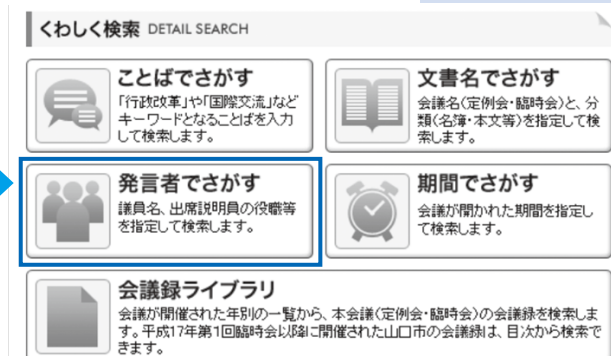


議員がどんな質問をしたか、ぜひ、ご覧ください！

過去の質問と答弁のやりとりを市議会ホームページからご覧いただけます。
映像でご覧になりたい場合は、「インターネット録画中継」から、また、文字で読みたい場合
は、「山口市議会会議録」から検索することができます。



山口市議会会議録
(市議会ホームページ)



「発言者からさがす」を選択すると、議員ごとに過去の質問を見ることができます。

※令和4年6月定例会の「山口市議会会議録」は、現在、準備中です。9月定例会までに公開となりますので、今しばらくお待ちください。

市議会ホームページの「スライド」または「メニュー」を選択

ようこそ議場へ



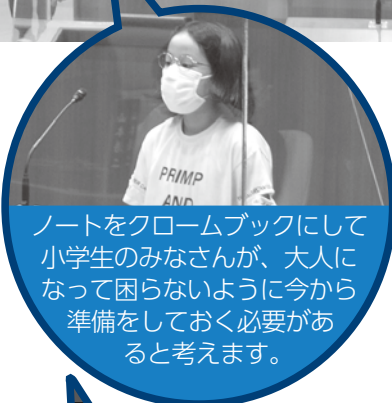
模擬議会開催

白石小学校の6年生116名が、社会科の学習で市議会議場を訪れ、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、2グループに分かれて議会体験を行いました。

市長からは、大人になったら、パソコンを使用することが当たり前になる子どもたちのために「すべての教科について、ノートをクロームブック(パソコン)にすることが提案されました。

議員からは、問題点や疑問点など、たくさんの質問が行われ、答弁者からは、その対策案など、しっかりとした答弁が行われました。

見学に来られた皆さんは、6年後には18歳になって有権者となります。この体験をもとに、市政や議会について、より関心を高めてもらいたいと思います。



ノートをクロームブックにして小学生のみなさんが、大人になって困らないように今から準備しておく必要があると考えます。



子どもたちが字を書く機会が減り、漢字やひらがなが覚えられなくなるのではないですか。



市長からの説明が終わりました。
議員の皆さん、質問はありませんか。



タッチペンを配付したり、手書きのアプリ等を入れたりして、書く機会を増やそうと考えています。

賛成多数で可決されました。



議員へ質問! 元気よく手をあげ質問する姿は、さながら議員のようでした。

- ・なぜ、議員になろうと思ったんですか?
- ・当選したときは、どんな気持ちでしたか?
- ・議員になって一番やりがいがあったことや大変だったことは何ですか?
- ・議員になるために大変だったことって何ですか?

議会の主な動き



3月

- 30日 市議会だより等編集委員会
(以下「編集委員会」)

4月

- 8日 第88回山口県市議会議長会定期総会
- 14日 編集委員会
- 26日 中国市議会議長会第150回定期総会及び理事会

5月

- 10日 会派代表者会議
- 12日 会派代表者会議、議会基本条例等に関する研修会
- 17日 会派代表者会議
第2回臨時会、全員協議会、議会運営委員会
- 19日 会派代表者会議



大歳駅レノ丸ポスト設置除幕式(5月20日)

- 23日 第二次山口市総合計画等説明会及び現地視察(1日目)
- 24日 第二次山口市総合計画等説明会及び現地視察(2日目)
- 25日 全国市議会議長会第98回定期総会
- 30日 議会運営委員会、執行部説明会、広報広聴委員会

6月

- 6日 第3回定例会初日(～6月27日最終日)、広報広聴委員会
- 7日 議会運営委員会
- 9日 編集委員会
- 27日 議会運営委員会、執行部説明会、編集委員会

おいでまや山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

□受け入れ団体(4月～6月)2団体

4月26日 北海道旭川市議会

5月25日 福岡県福岡市議会

行政視察を通じ、本市の魅力をPRしていきます。

編集後記

改選後、新体制で初めての発行となります。みなさんに手に取って読んでいただけるよう、よりわかりやすく読みやすいものとなるよう、議論を重ねて出来上がりました。ぜひご覧ください。今後ともよろしくお願いします。(大田)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…8/24(水)まで 請願の受付…8/31(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
9/4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (初日) 10:00～					
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継	本会議終了後 予算決算 委員会			
18	19 敬老の日	20	21	22	23 秋分の日	24
			予算決算 委員会 10:00～			
25	26 教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	27 教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	28 総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～	29 総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～	30	10/1
2	3	4	5	6	7	8
		予算決算 委員会 10:00～		本会議 (最終日) 10:00～		

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ホームページ
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住 所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号

電 話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658

メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp

あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

5月21日、吉敷地域において、たんばに親しみ自然や農作物への感謝を感じることを目的に、県内初となる「たんばラグビー」が開催されました。キックオフのホイッスルが鳴ると、子どもも大人も真剣にボールを追いかけていました。

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 野村雄太郎
委 員 大來尚順・鳥養祐矢・米本太郎・倉増賢治
野島義正・栗林 正・植野伸一・有田 敦
山本浩二・安河内淳朗

次号は11月15日です